

第2期御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）

総合戦略の全体像

「御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、次世代に向けて更なる発展を遂げ、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保していくため、目指すまちの姿やまちづくりにおける理念を明確にするとともに、中期的な施策の基本的方向、具体的な施策をもとめるものです。

【総合計画との関係】

本戦略は、まちづくりを進める上で最上位となる総合計画が目指すまちづくりの実現に向け、総合計画の将来像を踏襲しつつ、基本理念を本戦略の全ての施策に通じる指針としています。

【計画期間】

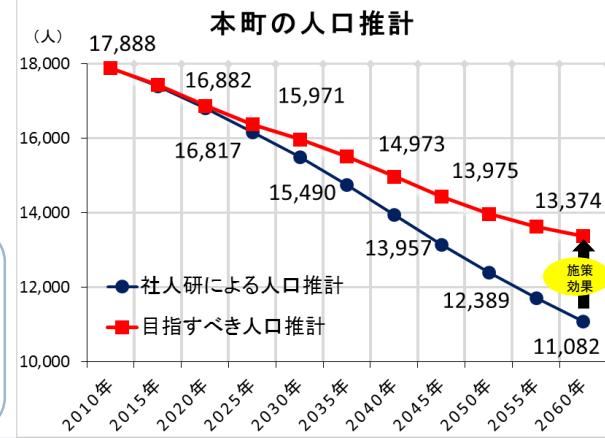
本戦略の計画期間は、「御船町人口ビジョン」において示した人口推計を展望し、令和2年度を初年度とする5か年とします。

御船町人口ビジョン

人口ビジョンは、国が示す長期ビジョンや、本町の人口の現状や課題を踏まえ、御船町が今後の人口問題に対応していくため、目指すべき将来の方向性や将来の人口展望をまとめたものです。

【目指すべき将来の方向性】

- ① 新たな人の流れをつくる
- ② 御船で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる
- ③ 魅力ある雇用の場を創出する



総合戦略の目的

第2期御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略は4つの基本目標と2つの横断的な目標で構成されています。横断的な目標は4つの基本目標の全てに通じる目標です。

基本目標 1

～ 御船の特性を活かした魅力ある雇用の場を創出する ～

町の若い世代の転出抑制のためには、魅力ある雇用の場の創出が必要であるため、企業の誘致を進めるとともに、農林業を含めた既存産業・地元商業者の活性化を図り、安定した雇用の創出につなげます。

◎数値目標

一人あたりの御船町の所得推計
1,988千円 (H28) → 2,010千円 (R4)

◆施策

- 1 農林業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 雇用環境の創出

◆施策を実現するために想定される取組

- 農業用排水施設や農道、圃場の整備の推進
- 新規就農者及び農業法人化に向けた支援 など
- 空き店舗の有効活用
- 御船町特産品認定品「御船のいさぎ」のさらなる魅力発信 など
- 3つのインターチェンジ周辺の産業集積
- 町内での雇用増加のための仕組みづくり など

基本目標 3

～ 御船で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる ～

今後の少子化、人口減少は急務の課題であるため、結婚支援や子育て支援、教育施設のICT機器導入など、子育てしやすい環境づくりを充実させ、結婚から妊娠出産・子育て・教育まで切れ目ない支援を行います。

◎数値目標

出生数
124人 (H26-30平均) → 128人 (R2-6平均)

◆施策

- 6 結婚、妊娠出産、子育ての切れ目ない支援
- 7 教育環境の充実

◆施策を実現するために想定される取組

- 民間団体等が実施する婚活イベントの支援
- 妊婦の健康診査に対する経済的支援
- 保育園等施設整備の推進 など
- 外国語(英語)教育の充実
- 教育現場へのICT機器の導入 など

基本目標 2

～ 御船の素材を活かし、新たなひとの流れをつくる ～

熊本地震の影響による転出超過が落ち着いてきたことから、転入増加の取組を加速させます。また、観光関係についても、民間と共働し、町の地域資源を活かして観光客を引き込み、更なるひとの流れをつくります。

◎数値目標

社会増減
-83人 (H26-30平均) → 0人 (R2-6平均)

◆施策

- 4 移住定住の促進
- 5 観光交流の推進

◆施策を実現するために想定される取組

- 体験型の魅力ある御船町での生活のアピール
- 移住コーディネーターによる移住の相談体制及び支援制度の構築
- 空き家空き地バンクを活用した住まいの情報提供 など
- 交流人口拡大に向けた観光基盤の整備促進、イベントの開催
- 御船町恐竜博物館における活動の充実
- 観光協会を主体とした御船版DMOの組織化 など

基本目標 4

～ 住みやすさNO.1のまちを目指して、住民全体による地域づくりを進める ～

誰もが活躍でき、暮らしやすいまちづくりを進めるため、地域ごとに異なっている課題などの状況を踏まえつつ、地域の特性を活かし、地域の人材や地域に関わりのある人達と共働してまちづくりを進めます。

◎数値目標

年間転出者数
723人 (H26-30平均) → 660人 (R2-6平均)

◆施策

- 8 地域コミュニティの推進
- 9 防犯・防災・交通安全体制の充実
- 10 公共交通の充実
- 11 高齢者・障がい者をはじめとして、みんなにやさしいまちづくり

◆施策を実現するために想定される取組

- 町職員による地域活動サポートの実施(お伺い行政の実施) など
- 防犯に配慮した施設や資機材の整備検討
- 浸水被害の防止や軽減のための内水対策 など
- 公共交通に関する全体計画の策定 など
- 高齢者等の健康づくりや生きがいづくり活動に対する支援の実施
- 在宅医療・介護連携推進事業の推進
- 特定健診受診率向上に向けた取組 など

横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する

(1) 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進

- 担い手を地域住民に限定せず、域内外の個人、企業等と共働し地方創生の推進を図ります。
- 企業版ふるさと納税等の民間資金を積極的に活用し、町と企業の連携を強化します。

(2) 誰もが活躍する地域社会の推進

- 女性、高齢者、障がい者、外国人などの誰もが、年齢や性別、障がいの有無等を問わずに居場所と役割を持ち活躍できるまちづくりを行うため、あらゆる施策を効果的に活用します。

横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする

(1) 地域におけるSociety5.0の推進

- 次世代情報通信インフラの情報収集を行いつつ、情報通信基盤等の環境整備を検討します。
- 本町の実情に合わせたかたちで未来技術を活用できるように検討します。

(2) 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

- 「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に沿って取組を推進することが、地方創生の深化・充実につながるため、SDGsの実現などの持続可能なまちづくりを目指します。